

5 施設及び設備の概要

(1) 水再生プラザ等施設能力の現状と計画

令和7年3月31日現在

区分 施設名	処 理 面 積 (ha)						総 人 口 (千人)	処 理 人 口 (千人)	水 洗 化 口 (千人)
	計 画			現 在					
	合 流	分 流	全 体	合 流	分 流	全 体			
創 成 川	2,069	-	(汚)2,069 (雨)2,069	2,067	-	(汚)2,067 (雨)2,067	247.1	247.1 (100.0%)	247.1 (100.0%)
拓 北	-	(汚) 470 (雨) 451	(汚) 470 (雨) 451	-	(汚) 455 (雨) 438	(汚) 455 (雨) 438	19.6	19.6 (100.0%)	19.6 (100.0%)
伏 古 川	1,117	-	(汚)1,117 (雨)1,117	1,108	-	(汚)1,108 (雨)1,108	89.2	89.2 (100.0%)	89.2 (100.0%)
茨 戸	2,017	(汚) 134 -	(汚)2,151 (雨)2,017	1,982	(汚) 116 -	(汚)2,098 (雨)1,982	130.8	130.2 (99.5%)	130.0 (99.8%)
豊 平 川	2,778	(汚)2,122 (雨)2,088	(汚)4,900 (雨)4,866	2,773	(汚)2,062 (雨)2,026	(汚)4,835 (雨)4,799	429.0	428.1 (99.8%)	427.9 (100.0%)
厚 別	-	(汚)4,653 (雨)4,612	(汚)4,653 (雨)4,612	-	(汚)4,481 (雨)4,420	(汚)4,481 (雨)4,420	279.4	278.7 (99.7%)	278.6 (100.0%)
定 山 溪	-	(汚) 132 (雨) 117	(汚) 132 (雨) 117	-	(汚) 96 (雨) 56	(汚) 96 (雨) 56	1.2	1.2 (100.0%)	1.2 (100.0%)
東 部	-	(汚) 779 (雨) 751	(汚) 779 (雨) 751	-	(汚) 703 (雨) 686	(汚) 703 (雨) 686	55.9	55.8 (99.8%)	55.7 (99.8%)
新 川	2,911	(汚) 879 (雨) 860	(汚)3,790 (雨)3,771	2,905	(汚) 831 (雨) 808	(汚)3,736 (雨)3,713	352.0	351.3 (99.8%)	351.1 (99.9%)
手 稲	4,800	(汚) 589 (雨) 585	(汚)5,389 (雨)5,385	4,664	(汚) 585 (雨) 581	(汚)5,249 (雨)5,245	364.1	363.6 (99.9%)	363.4 (99.9%)
西 部 スラッジ センター	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東 部 スラッジ センター	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計	15,692 [62%]	(汚)9,758 (雨)9,464 [38%]	(汚)25,450 (雨)25,156 [100%]	15,499 [62%]	(汚)9,329 (雨)9,015 [38%]	(汚)24,828 (雨)24,514 [100%]	1,968.3	1,964.8 (99.8%)	1,963.8 (99.9%)

- 注：1 茨戸水再生プラザは、札幌市分のみ。
2 計画は現状の東部処理区切替部分のみ反映
3 「処理人口」欄の（ ）は、総人口普及率。 処理人口／総人口
4 「水洗化人口」欄の（ ）は、水洗化率。 水洗化人口／処理人口
5 「合計」欄の[]は、汚水ベースの分合流比

令和7年3月31日現在

施設名	区分	汚 水		処 理		汚 泥				処 理		放流先 環境基準 類型	敷地面積 (m ²)	運 転 開 始 年 月
		処 理 能 力 (千m ³ /日)		排 除 方 式	処 理 方 式	脱水能力 (m ³ /時)		焼却能力 (t/日)		脱 方 水 式				
		計画	現在			計画	現在	計画	現在					
創 成 川		144.0	144.0	合 流	標 準 活性汚泥法	発生汚泥を圧送				創 成 川	70,854 (14,815)	第1： 昭和42年4月 第2： 昭和56年4月 平成3年11月		
[高度処理]		[144.0]	[120.0]		急速砂ろ過法					B				
拓 北		16.0	16.0	分 流	標 準 活性汚泥法	発生汚泥を圧送				石 狩 川	32,122	昭和59年9月		
										B				
伏 古 川		49.0	49.0	合 流	ス テ ッ プ 流入式硝化 脱 窒 法	発生汚泥を圧送				伏 籠 川	30,682	昭和43年4月 平成15年3月		
[高度処理]		[49.0]	[49.0]										-	
茨 戸 (札幌＋石狩)		85.2 (95.0)	85.2 (95.0)	合 流	ス テ ッ プ 流入式硝化 脱 窒 法	発生汚泥を圧送				茨 戸 川	169,952	昭和52年8月 令和5年4月		
[高度処理] (札幌＋石狩)		[85.2] (95.0)	[85.2] (95.0)							(一部分流)			B	
豊 平 川		186.0	186.0	合 流 (一部分流)	標 準 活性汚泥法	発生汚泥を圧送				望月寒川	93,873 (6,810)	第1： 昭和45年10月 第2： 昭和55年9月		
										B				
厚 別		154.8	154.8	分 流	標 準 活性汚泥法	発生汚泥を圧送				野津幌川	92,479 (汚水調整池を含む)	昭和48年10月		
										B				
定 山 溪		14.0	14.0	分 流	標 準 活性汚泥法	濃縮汚泥を搬出				豊 平 川	13,181	昭和45年10月		
										A				
東 部		40.0	40.0	分 流	ス テ ッ プ 流入式硝化 脱 窒 法	発生汚泥を圧送				豊 平 川	158,711	平成17年4月		
[高度処理]		[40.0]	[40.0]											B
新 川		238.0	238.0	合 流 (一部分流)	標 準 活性汚泥法	発生汚泥を圧送				琴 似 川	100,289	第1： 昭和46年9月 第2： 昭和56年4月		
										D				
手 稲		220.0	220.0	合 流 (一部分流)	標 準 活性汚泥法	発生汚泥を圧送				新 川	103,272	昭和53年6月		
										D				
西 部 スラッジ センター		-	-	-	-	300.0	300.0	550.0	550.0	遠 心 脱 水	-	86,913	脱水： 平成12年3月 (定山溪：平成16年3月) 焼却： 昭和58年4月	
						定山溪脱水	4.8			4.8				圧 入 式 スクリュ ー プ レ ス
東 部 スラッジ センター		-	-	-	-	150.0	150.0	300.0	300.0	遠 心 脱 水	-	40,196	脱水： 平成19年9月 焼却： 平成19年9月	
合 計		1,147.0 (1,156.8)	1,147.0 (1,156.8)	-	-	454.8	454.8	850.0	850.0	-	-	992,524	-	

- 注：1 創成川水再生プラザの高度処理施設は、重力式上向流固定床方式による急速砂ろ過法であり、処理能力の内数である。
2 脱水能力は、給泥量表示である。
3 焼却能力は、脱水ケーキ量表示である。
4 敷地面積は、地積測量図の地積。() 内数値は占用部分で内数
5 茨戸水再生プラザの処理能力は札幌市分のみである。なお() 内数値は施設全体能力で、石狩市の認可分を含む。

(2) 水再生プラザ設備の現況

沈砂池設備

令和7年3月31日現在

区分 施設名		沈砂池											
		用途	池数	容量 (m ³ /池)	型 式	除 塵		設 備		除 砂		設 備	
						方 式	台数	付 属 設 備	方 式	台数	付 属 設 備		
創 成 川	第 2	汚水	1 2	137 76	矩形平行流 曝 気 式	細目スクリーン	3	自動バースクリーン スクリュウコンベヤ	機 械 掻 揚	6	バケットコンベヤ トラフコンベヤ		
		雨水	2	137	矩 形 平 行 流	細 目 "	2	バケットエレベータ		4	バケットエレベータ		
	雨 P	雨水	3	269	"	細目 "	3	自動バースクリーン ベルトコンベヤ	"	6	バケットコンベヤ トラフコンベヤ		
	融 雪 管	融雪	1	-	-	細目 "	1	自動バースクリーン	混気ジェット ポ ン プ	1	空気混入式 ジェットポンプ		
拓 北		汚水	2	24.6	曝気式	細目 "	2	自動バースクリーン スクリュウコンベヤ バケットエレベータ	揚砂ポンプ	2	スクリュウ式掻寄機 サンドポンプ スクリュウ式分離機 バケットエレベータ		
伏 古 川		汚水	低段 2	33	曝 気 式	細目 "	2	自動バースクリーン スクリュウコンベヤ ベルトコンベヤ バケットエレベータ	機械掻揚	2	スクリュウ式分離機 トラフコンベヤ バケットエレベータ		
		雨水	低段 2	51	矩形 平行流	細目 "	2		揚 砂 ポ ン プ	2			
		汚水	高段 2	112	矩 形 平 行 流	細目 "	2		"	2			
		融雪	1	-	-	粗目 "	1	自動バースクリーン	混気ジェット ポンプ	1	空気混入式 ジェットポンプ		
茨 戸		汚水	5	115.5	曝 気 式	細目 "	5	自動バースクリーン スクリュウコンベヤ バケットエレベータ	機 械 掻 揚	5	トラフコンベヤ バケットエレベータ		
		雨水	3	138	矩 形 平 行 流	細目 "	3		"	3			
豊 平 川	第 1	汚水	高段2 低段1	135.7	曝 気 式 "	細目 "	2	自動バースクリーン ベルトコンベヤ バケットエレベータ	機 械 掻 揚	2	バケットコンベヤ トラフコンベヤ バケットエレベータ		
		汚水	低低段 2	79.2	矩 形 平 行 流	細目 "	2		"	4			
		雨水	高段4 低段2	133.9	" "	粗目 " 細目 "	2 10		"	4			
	第 2	汚水	2	85.2	"	細目 "	2	自動バースクリーン ベルトコンベヤ バケットエレベータ	"	4	トラフコンベヤ バケットエレベータ		
		雨水	3	108.7	"	細目 "	3		混気ジェット ポ ン プ	3			
	厚 別		汚水	4	132	曝 気 式	細目 "	4	自動バースクリーン ベルトコンベヤ Vバケットコンベヤ スクリュウコンベヤ	機 械 掻 揚	4	Vバケットコンベヤ トラフコンベヤ スクリュウコンベヤ	
定 山 溪		汚水	2	8.7	矩 形 平 行 流	粗目 " 細目 "	2 2	(粗目スクリーン人力掻揚) 自動バースクリーン 流水トラフ	"	2	ベルトコンベヤ 沈砂搬出機 スキップエレベータ 流水トラフ		
東 部		汚水	2	64.2	矩 形 平 行 流	細目 "	2	自動バースクリーン スクリュウコンベヤ Vバケットエレベータ	"	2	Vバケットコンベヤ トラフコンベヤ Vバケットエレベータ		
新 川	第 1	汚水	4	151.2	曝 気 式	粗目 " 細目 "	4 4	自動バースクリーン ベルトコンベヤ	混気ジェット ポ ン プ	4	Vバケットコンベヤ トラフコンベヤ		
		雨水	2	105.6	矩 形 平 行 流	粗目 " 細目 "	4 4			2	ベルトコンベヤ グリッドコレクタ		
	第 2	汚水	3	232	曝 気 式 旋 回 式	細目 "	3	自動バースクリーン スクリュウコンベヤ バケットコンベヤ	機 械 掻 揚	3	Vバケットコンベヤ トラフコンベヤ		
		手 稲		汚水	3	94	矩 形 平 行 流	細目 "	自動バースクリーン スクリュウコンベヤ バケットコンベヤ	"	3	Vバケットコンベヤ トラフコンベヤ	
雨水	2	400	矩 形 平 行 流	細目 "	2	混気ジェット ポ ン プ	2						

池槽施設

令和7年3月31日現在

区分	施設名		数量 (池、槽)	容量 (m^3 /池、槽)	水面積 (m^2 /池)	有効深 (m)	せき長 (m/池)	構造・形式	備考
汚水調整池	厚別		4	4,000	—	6.5	—		冬期間は2池を融雪槽として使用
	東部		1	2,460	—	2.0	—		
雨水滞水池	茨戸		6	3,267	544	6.0	141	平行流式長方形	
予備エレーションタンク	茨戸		1	656	—	4.0	—	スパージャ方式	従来の4池は汚泥圧送設備に変更
	厚別		1	1,722	—	4.5	—	ディスクディフューザ方式	従来の1池は汚泥圧送設備に変更
最 初 沈 殿 池	創成川	第1	3	1,050	420	2.5	58	平行流式長方形	
		第2	2	3,350	957	3.5	194	〃	
	拓北		2	622	194	3.2	72	〃	
	伏古川		4	763	332	2.2	65	放射流式正方形	
			2	1,404	360	3.9	115	平行流式長方形	
	茨戸		5	2,398	624	3.7	136	〃	
	豊平川	第1	6	1,008	422	2.4	95	〃	
			2	2,849	730	3.9	278	〃	
		第2	3	2,356	620	3.8	208	〃	
	厚別		12	761	324	2.5	66	放射流式正方形	
	定山溪		—	—	—	—	—	—	
	東部		2	1,500	500	3.0	83	平行流式長方形	
	新川	第1	4	2,000	800	2.5	182	平行流式長方形	
		第2	3	2,253	593	3.8	172	〃	
	手稲		10	1,800	450	4.0	206	〃	
反 応 タ ン ク	創成川	第1	3	6,768	—	4.7	—	微細気泡方式	
		第2	2	7,610	—	6.0	—	散気板方式	
	拓北		2	2,740	—	6.0	—	〃	
	伏古川		4	4,560	—	4.0	—	微細気泡方式	
	茨戸		5	6,290	—	5.2	—	〃	
	豊平川	第1	3	10,200	—	4.5	—	〃	
		第2	3	7,678	—	6.0	—	微細気泡方式	
	厚別		4	9,084	—	4.0	—	散気板、微細気泡方式	
	定山溪		3	726	—	4.0	—	散気筒方式	
			1	870	—	4.0	—	散気板方式	
	東部		2	9,000	—	5.8	—	微細気泡方式	
	新川	第1	4	9,900	—	4.5	—	微細気泡方式	
		第2	2	14,900	—	5.0	—	微細気泡方式	
	手稲		3	13,188	—	5.5	—	微細気泡方式	
			2	13,104	—	5.2	—		

区分	施設名		数量 (池、槽)	容量 (m^3 /池、槽)	水面積 (m^2 /池)	有効深 (m)	せき長 (m/池)	構造・形式	備考
最終沈殿池	創成川	第1	3	2,245	774	2.9	168	平行流式長方形	
			2	1,685	581	2.9	126	〃	
		第2	2	3,450	1,160	3.0	240	〃	
	拓北		2	1,166	388	3.0	80	〃	
	伏古川		4	1,600	483	3.3	132	〃	
	茨戸		5	3,318	1,037	3.2	216	〃	
	豊平川	第1	6	1,675	578	2.9	196	〃	
		第2	3	3,200	1,000	3.2	304	〃	
	厚別		8	2,002	626	3.2	164	〃	
	定山溪		6	297	106	2.8	34	〃	
			2	362	129	2.8	36	〃	
	東部		2	4,680	1,340	3.5	219	〃	
	新川	第1	8	1,710	570	3.0	108	〃	
		第2	4	2,838	860	3.3	264	〃	
	手稲		10	3,105	900	3.45	222	〃	
ろ過池	創成川	高度処理	10	ろ過面積：50 m^2 /池 ろ過速度：240 $\text{m}^3/\text{m}^2 \cdot \text{日}$			重力式上向流 固定床型		支持砂利：0.9 m厚(径4～50 mm) 下砂：0.5 m厚(径2.1 mm) 上砂：1.0 m厚(径1.2 mm)
接触タンク	創成川	第1	1	900	—	2.5	—		12%次亜塩素酸ナトリウムを使用
		第2	1	1,616	—	4.5	—		
	拓北		1	420	—	3.0	—		〃
	伏古川		1	795	—	3.0	—		〃
			1	730	—	4.0	—		
	茨戸		1	2,686	—	4.0	—		〃
	豊平川	第1	1	2,935	—	4.2	—		〃
		第2	1	1,700	—	5.0	—		〃
	厚別		1	1,896	—	4.2	—		〃
	定山溪		1	180	—	1.8	—		〃
	東部		1	1,060	—	2.0	—		〃
	新川	第1	1	1,664	—	4.0	—		〃
		第2	1	4,425	—	6.0	—		〃
	手稲		1	5,391	—	3.3	—		〃
			1	2,179	—	4.0	—		

貯留管施設

区分	施設名	貯留量 (m^3)	管径φ (mm)	延長 (m)	備考
雨水貯留管	創成川	46,400	5,000	2,495	冬期間は融雪管として使用
	伏古川	32,000	4,200	2,210	〃
			3,000	690	
	豊平川	24,000	4,250	1,900	浸水対策及び合流改善として使用

汚水ポンプ・雨水ポンプ

令和7年3月31日現在

区 分	施 設 名		型 式	口 径 (mm)	揚 水 量 (m ³ /分・台)	揚 程 (m)	出 力 (kW)	台数 (台)	種 類	備 考
汚 水 ポ ン プ	創 成 川 水 再 生 プ ラ ザ	第 1	立 軸 斜 流	800	73.0	16.7	280	2	M	
		第 2	1 次 立 軸 斜 流	400	21.0	10.0	55	2	M	
			〃	700	63.0	10.0	155	2	M	
			〃	800	87.0	10.0	210	2	M	
			2 次 立 軸 斜 流	400	21.0	8.0	45	2	M	
			〃	700	63.0	7.5	115	1	M	
			〃	700	63.0	8.5	130	1	M	
			〃	800	87.0	8.6	180	2	M	
	拓 北 水 再 生 プ ラ ザ		立 軸 渦 巻 斜 流	250	6.4	19.0	37	3	M	
			〃	400	18.6	19.0	90	2	M	
	伏 古 川 水 再 生 プ ラ ザ		立 軸 渦 巻	350	13.0	20.0	75	2	M	
			〃	600	48.0	20.0	250	2	M	
			脱 着 式 水 中 ポ ン プ	300	11.0	10.5	30	3	M	
			立 軸 斜 流	500	34.0	9.0	75	3	M	
	茨 戸 水 再 生 プ ラ ザ		立 軸 斜 流	500	30.0	17.0	120	3	M	
			〃	900	100.0	17.0	400	4	M	
	豊 平 川 水 再 生 プ ラ ザ	第 1	立 軸 渦 巻 斜 流	400	22.5	8.1	45	3	M	
			〃	600	45.0	7.6	80	2	M	
			立 軸 斜 流	800	75.0	9.0	180	2	M	
			〃	800	80.0	14.0	270	3	M	
		第 2	立 軸 斜 流	500	30.0	12.7	95	2	M	
〃	800		86.0	12.9	265	3	M			
厚 別 水 再 生 プ ラ ザ		立 軸 斜 流	450	25.0	13.0	85	4	M		
		〃	450	35.0	13.5	120	1	M		
		〃	800	87.0	12.6	250	3	M		
東 部 水 再 生 プ ラ ザ		立 軸 斜 流	500	35.0	22.0	190	2	M		
		〃	700	70.0	22.0	370	1	M		
新 川 水 再 生 プ ラ ザ	第 1	立 軸 斜 流	600	44.5	12.0	125	3	M		
		〃	800	89.0	12.0	290	2	M		
		第 2	立 軸 斜 流	600	45.0	12.0	140	3	M	
			〃	1,000	130.0	12.0	370	2	M	
手 稲 水 再 生 プ ラ ザ		立 軸 斜 流	600	45.0	14.1	150	2	M		
		〃	1,000	130.0	13.8	420	1	M		
		〃	1,000	130.0	14.1	420	1	M		
		〃	1,350	250.0	13.8	810	2	M		
雨 水 ポ ン プ	創 成 川 水 再 生 プ ラ ザ	第 2	立 軸 斜 流	1,800	420.0	12.5	1,800PS	3	D	
		雨 水 ポ ン プ 施 設	立 軸 斜 流	2,200	660.0	11.5	2,600PS	3	D	
	伏 古 川 水 再 生 プ ラ ザ		立 軸 斜 流	500	35.0	6.0	50	2	M	
			横 軸 斜 流	1,200	180.0	7.5	450PS	2	D	
	茨 戸 水 再 生 プ ラ ザ		立 軸 斜 流	1,000	140.0	10.9	370	2	M	
			〃	1,500	320.0	11.2	1,300PS	1	D	
			〃	1,800	420.0	14.0	2,100PS	1	D	
	豊 平 川 水 再 生 プ ラ ザ	第 1	横 軸 斜 流	1,500	330.0	3.8	295	3	D	
		第 2	立 軸 斜 流	700	69.0	9.0	150	2	M	
			〃	1,350	243.0	7.8	620PS	3	D	
	新 川 水 再 生 プ ラ ザ	第 1	立 軸 斜 流	900	110.0	6.0	150	2	M	
			横 軸 斜 流	1,350	260.0	7.0	600PS	3	D	
手 稲 水 再 生 プ ラ ザ		立 軸 斜 流	1,350	250.0	10.7	620	1	M		
		〃	2,600	930.0	8.7	2,600PS	2	D		

1 ポンプの種類は、Mが電動、Dがディーゼル

2 電動機の出力はkW、ディーゼルはPSで表示

返送汚泥ポンプ

令和7年3月31日現在

区 分	施 設 名		型 式	口 径 (mm)	揚 水 量 ($\text{m}^3/\text{分}\cdot\text{台}$)	揚 程 (m)	出 力 (kW)	台数 (台)	種類	備 考
返 送 汚 泥 ポ ン プ	創 成 川 水 再 生 プ ラ ザ	第 1	吸込スクリュー汚泥ポンプ	300	7.5	6.1	22	6	M	
		第 2	吸込スクリュー汚泥ポンプ	300	8.0	12.0	30	4	M	
	拓 北 水 再 生 プ ラ ザ		吸込スクリュー汚泥ポンプ	125	2.2	5.0	5.5	2	M	
			〃	250	3.1	4.0	5.5	2	M	
	伏 古 川 水 再 生 プ ラ ザ		吸込スクリュー水中ポンプ	150	5.4	12.0	30	4	M	予備2台
	茨 戸 水 再 生 プ ラ ザ		吸込スクリュー汚泥ポンプ	300	18.0	8.3	55	4	M	
			〃	250	9.0	10.0	37	2	M	
	豊 平 川 水 再 生 プ ラ ザ	第 1	吸込スクリュー汚泥ポンプ	250	8.0	10.0	30	6	M	
		第 2	〃	250	10.6	12.0	37	6	M	
	厚 別 水 再 生 プ ラ ザ		吸込スクリュー汚泥ポンプ	300	18.0	7.0	37	4	M	
	定 山 溪 水 再 生 プ ラ ザ		吸込スクリュー水中ポンプ	100	1.2	2.6	1.5	6	M	予備2台
			〃	100	1.4	7.0	3.7	2	M	予備2台
	東 部 水 再 生 プ ラ ザ		吸込スクリュー汚泥ポンプ	300	14.3	8.3	37	2	M	
	新 川 水 再 生 プ ラ ザ	第 1	吸込スクリュー汚泥ポンプ	300	9.5	3.5	11	6	M	R5全台更新完了
		第 2	吸込スクリュー汚泥ポンプ	300	12.9	9.1	37	4	M	
	手 稲 水 再 生 プ ラ ザ		吸込スクリュー汚泥ポンプ	300	13.6	11.0	45	6	M	
			〃	250	13.6	11.0	45	2	M	
			〃	300	13.6	9.5	45	2	M	

その他ポンプ設備

令和7年3月31日現在

施 設 名		用 途	型 式	口 径 (mm)	揚 水 量 ($\text{m}^3/\text{分}\cdot\text{台}$)	揚 程 (m)	出 力 (kW)	台数 (台)	種類	備 考
創 成 川 水再生プラザ	高 度 処 理	原水揚水	立 軸 斜 流	500	34.0	13.0	120	4	M	
	雨 水 貯 留 管	雨水返送	立軸スクリュウ付渦巻斜流	500	30.0	22.0	150	3	M	
	新琴似流雪溝	送 水	立 軸 渦 巻	400	18.0	12.1	55	1	M	
	創成東流雪溝	送 水	立 軸 渦 巻	300	10.2	15.0	45	2	M	
	新琴似北流雪溝	送 水	片吸込横軸渦巻	250	9.0	8.0	18.5	2	M	昼用
			〃	100	2.4	7.0	5.5	1	M	夜用
	安春川流雪溝	送 水	立 軸 渦 巻	400	15.0	12.2	45	2	M	
せ せ ら ぎ	送 水	横 軸 渦 巻	200	4.2	7.0	7.5	2	M		
伏 古 川 水再生プラザ	雨 水 貯 留 管	雨水返送	吸 込 ス ク リ ュ ー 水 中 ポ ン プ	350	12.6	20.0	75	4	M	
豊 平 川 水再生プラザ	雨 水 貯 留 管	雨水返送	水 中 汚 水 ポ ン プ (フライホイール付)	350	13.0	25.0	110	3	M	
	北 郷 流 雪 溝	送 水	横 軸 渦 巻	300	18.0	48.0	210	1	M	昼用
〃			150	2.4	9.5	5.5	1	M	夜用	
厚 別 水再生プラザ	汚 水 調 整 池	消 泡 水	横 軸 渦 巻	50	0.7	24.0	7.5	2	M	
		排 水	横 軸 渦 巻	125	1.7	15.0	11	2	M	
		汚 泥 引 抜	片 吸 込 み 渦 巻	200	3.0	9.0	7.5	2	M	
		池 洗 浄	槽 外 形 横 軸 渦 巻	80	2.2	30.0	18.5	2	M	
東 部 水再生プラザ	高 度 処 理	原水揚水	横 軸 渦 巻	80	1.25	16.0	7.5	4	M	
	汚 水 調 整 池	返 送 水	横軸吸込スクリュウ渦巻	150	3.3	14.0	18.5	2	M	
	排 水 処 理	冷却水送水	片 吸 込 み 渦 巻	200	2.7	19.0	15	3	M	
新 川 水再生プラザ	発 寒 流 雪 溝	送 水	横 軸 渦 巻	300	9.0	35.0	110	2	M	昼用
			〃	150	2.4	27.0	18.5	1	M	夜用
	琴 似 流 雪 溝	送 水	横 軸 渦 巻	300	9.0	34.0	75	2	M	昼用
			〃	150	2.4	26.0	18.5	1	M	夜用
新川融雪槽	送 水	横 軸 渦 巻	500	30.0	6.2	45	3	M		

1 ポンプの種類のMは電動をあらわす。

ブロウ設備

令和7年3月31日現在

区 分	施設名		型式	送風機 (Nm ³ /分・台)	吐出圧力 (mmAq)	出力 (kW)	台数 (台)	備考
主 ブ ロ ウ	創成川 水再生プラザ	第 1	片吸込 8 段ターボブロウ	110	6,300	180	4	
		第 2	片吸込単段増速ターボブロウ	124	5,500	220	3	
	拓北水再生プラザ		片吸込 8 段ターボブロウ	50	5,500	90	3	
	伏古川水再生プラザ		片吸込 8 段ターボブロウ	110	5,700	170	4	
	茨戸水再生プラザ		片吸込 8 段ターボブロウ	160	5,800	280	3	
			〃	160	5,800	240	2	
	豊平川 水再生プラザ	第 1	片吸込 5 段ターボブロウ	165	5,500	270	4	
		第 2	片吸込高速電動機直結型単段ターボブロウ	140	6,630	230	4	
	厚別水再生プラザ		片吸込 5 段ターボブロウ	151	5,500	270	5	
	定山溪水再生プラザ		ルーツブロウ	28	4,898	45	3	
	東部水再生プラザ		片吸込多段ブロウ	167	7,000	290	2	
	新川 水再生プラザ	第 1	片吸込 5 段ターボブロウ	168	5,530	270	5	
		第 2	片吸込高速電動機直結型単段ターボブロウ	180	6,300	240	3	
その他	手稲水再生プラザ		片吸込 5 段ターボブロウ	215	5,800	360	3	
			〃	215	5,600	340	2	
	創成川	高度処理施設	片吸込多段ターボブロウ	50	4,400	70	2	洗浄用
	厚別	汚水調整池	片吸込 8 段ターボブロウ	110	6,000	180	3	
	新川	融雪槽	ルーツブロウ	20	4,690	30	4	

脱水施設

令和7年3月31日現在

施設名	生污泥濃縮槽		脱 水 機			備 考
	槽数 (槽)	容量 (m ³ /槽)	型 式	処理能力 (m ³ /時)	台数 (台)	
西部スラッジ センター	8	1,018	横軸高効率遠心型	50	6	能力は3%濃度時
			圧入式スクリュープレス	2.4	2	能力は3%濃度時
東部スラッジ センター	4	1,021	横軸高効率遠心型	50	3	能力は3%濃度時

焼却施設

令和7年3月31日現在

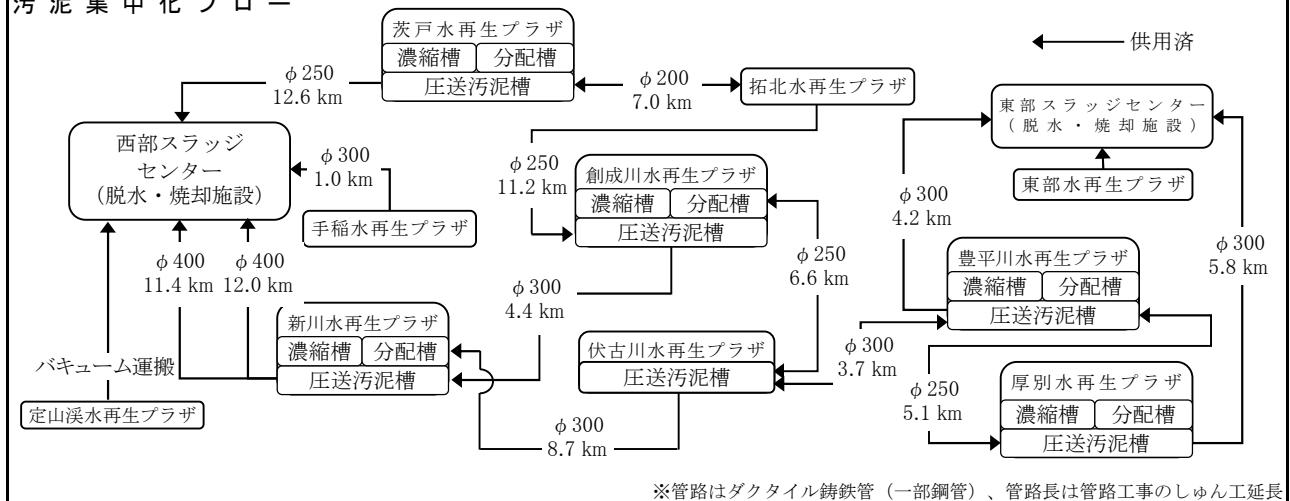
施設名	焼 却 炉				排 ガ ス 処 理	備 考
	型式	焼却能力 (kg/h)	火床面積 (m ²)	炉数 (炉)		
西部スラッジ センター	階段式 ストーカ炉	1,882	23.53	1	マルチサイクロン、電気集じん機	能力は乾燥脱水汚泥量 (含水率40%)
		2,083	17.00	1	マルチサイクロン、電気集じん機	
		2,430	22.00	2	マルチサイクロン、電気集じん機	
		3,050	40.00	1	マルチサイクロン、電気集じん機	
東部スラッジ センター	循環式流動炉	6,250	2.46	1	バグフィルタ	1号炉
		6,250	4.52	1	バグフィルタ	2号炉

汚泥圧送

施設名	汚泥濃度調整槽		圧送汚泥槽		汚泥圧送ポンプ（電動）					
	槽数 (槽)	容量 ($\text{m}^3/\text{槽}$)	槽数 (槽)	容量 ($\text{m}^3/\text{槽}$)	型式	口径 (mm)	揚水量 ($\text{m}^3/\text{分}\cdot\text{台}$)	揚程 (m)	出力 (kW)	台数 (台)
創成川水再生プラザ	4	333	2	673	吸込スクリー式	200×150	4.3	32.0	37	2
	1	666								
拓北水再生プラザ	2	112	2	80	横軸渦巻	150×125	3.0	37.5	45	2
						150×150	3.0	37.5	45	2
伏古川水再生プラザ	—	—	3	204	吸込スクリー式	200×150	3.0	41.0	45	2
茨戸水再生プラザ	2	600	1	430	吸込スクリー式	150×100	2.6	37.5	37	2
			1	470	吸込スクリー式	150×100	2.6	37.5	45	2
豊平川水再生プラザ	4	589	2	150	吸込スクリー式	200×150	4.2	37.0	55	2
厚別水再生プラザ	4	565	2	535	吸込スクリー式	200×150	4.2	55.0	75	2
東部水再生プラザ	—	—	—	—	横軸吸込スクリー渦巻	125×100	1.5	36.0	22	2
	—	—	—	—	吸込スクリー式	100×80	0.76	13.0	5.5	2
新川水再生プラザ	3	733	2	588	吸込スクリー式	250×150	7.5	80.0	180	2
手稲水再生プラザ	3	724	2	320	片吸込渦巻	250×125	3.7	40.0	55	2

汚泥集中化フロー

※拓北・茨戸水再生プラザの汚泥圧送ポンプは2台直列で使用



水質監視用計測器

(台)

	設置場所	創成川 水再生プラザ	拓北 水再生プラザ	伏古川 水再生プラザ	茨戸 水再生プラザ
DO 計	反応タンク	14	4	12	10
MLSS 計	反応タンク	5	2	8	10
濁度計	最終沈殿池	7	1	1	1
汚泥 界面計	最終沈殿池	7	2	4	5
	濃縮槽	—	—	—	—
ORP 計	反応タンク	10	4	16	—
アンモニア計	最終沈殿池	1	1	1	—

(台)

	設置場所	豊平川 水再生プラザ	厚別 水再生プラザ	定山溪 水再生プラザ	東部 水再生プラザ	新川 水再生プラザ	手稲 水再生プラザ
DO 計	反応タンク	13	8	4	4	13	16
MLSS 計	反応タンク	6	4	4	4	8	5
濁度計	最終沈殿池	2	1	1	1	3	2
汚泥 界面計	最終沈殿池	6	4	1	2	6	5
	濃縮槽	—	—	2	—	3	—
ORP 計	反応タンク	11	8	—	4	8	6
アンモニア計	最終沈殿池	—	1	—	1	1	1

電気設備

区分 施設名		受電 電圧 [V]	契約 電力 [kW]	設備 容量 [kW]	自家発電設備				変圧器				コンデンサ 調相容量 [kVA]		
					電圧 [V]	容量 [kVA]	種別	台数	種類	相数	電圧 1次[V]/2次[V]			容量 [kVA]	台数
創成川 水再生プラザ	全 体	66,000	3,400	11,023	6,600	1,500	常用	2	D	3	66,000/6,600		4,500	2	—
	第 1	—	—	—	—	—	—	—	—	3	6,600/420		500	2	1,400
	第 2	—	—	—	—	—	—	—	—	3	6,600/210		300	1	
	汚泥工場	—	—	—	—	—	—	—	—	1	6,600/210-105		150	1	
	雨水ポンプ	—	—	—	—	—	—	—	—	3	6,600/420		1,000	2	
	高度処理	—	—	—	—	—	—	—	—	1	6,600/210-105		200	1	
	雨水貯留管	—	—	—	—	—	—	—	—	3	6,600/420		500	1	
	流雪溝	—	—	—	—	—	—	—	—	1	6,600/210-105		200	1	
拓北水再生プラザ	6,600	274～354	654	6,600	1,000	非常用	1	GT	3	6,600/400		750	2	325	
									1	6,600/200-100		150	1		
伏古川水再生プラザ		6,600	1,250	5,429	6,600	750	常用	2	D	3	6,600/210		750	2	750
									3	6,600/420		750	1		
									3	6,600/420		200	1		
									1	6,600/210-105		200	1		
茨戸水再生プラザ		66,000	2,960	6,392	6,600	1,800	非常用	2	D	3	66,000/6,600		5,500	2	850
										3	6,600/415		750	2	
										3	6,600/420		300	2	
										3	6,600/210		200	1	
										1	6,600/210-105		200	1	
										1	6,600/210-105		50	1	
										3	6,600/420		500	1	
豊平川 水再生プラザ	全 体	66,000	3,600	12,044	6,600	1,500	常用	2	D	3	66,000/6,600		4,000	2	1,850
	第 1	—	—	6,798	—	—	—	—	—	3	6,600/420		1,000	2	700
	第 2	—	—	3,317	—	—	—	—	—	1	6,600/210-105		300	1	
	汚泥圧送	—	—	1,261	—	—	—	—	—	3	6,600/420		1,000	2	1,170
	流雪溝	—	—	231	—	—	—	—	—	3	6,600/210-105		200	1	
	雨水貯留	—	—	437	—	—	—	—	—	1	6,600/420		150	1	
厚別水再生プラザ		6,600	2,250	7,778	6,600	1,250 1,500	常用 常用	1 1	D D	3	6,600/420		1,000	2	1,400
汚水調整池		6,600	318～ 254	1,172	420	100	非常用	1	D	3	6,600/210-105		200	1	
										1	6,600/420		500	1	180
										3	6,600/210-105		75	1	
定山溪水再生プラザ		6,600	112～103	282	6,600	250	非常用	1	D	3	6,600/200		300	2	150
										1	6,600/200-100		50	1	
東部水再生プラザ		66,000	2,930	2,837	6,600	2,500	非常用	1	D	3	66,000/6,600		6,000	2	551
										3	6,600/420		750	3	
										1	6,600/210-105		300	1	
										3	6,600/210		150	1	
										3	6,600/420		500	2	
										3	6,600/420		150	2	
新 川 水再生プラザ	全 体	66,000	3,450	8,104	6,600 6,600	2,000 2,500	非常用 常用	1 1	GT D	3	66,000/6,600		6,000	2	2,400
	第 1	—	—	4,063	—	—	—	—	—	3	6,600/400		750	2	800
	第 2	—	—	2,788	—	—	—	—	—	1	6,600/200-100		200	1	
	汚泥工場	—	—	63	—	—	—	—	—	3	6,600/400		750	2	1,200
	流雪溝	—	—	474	—	—	—	—	—	1	6,600/200-100		150	1	
	汚泥圧送	—	—	379	—	—	—	—	—	3	6,600/400		1,000	2	
	融雪槽	—	—	337	—	—	—	—	—	1	6,600/200-100		150	1	
手稲水再生プラザ		6,600	3,150	8,105	6,600	2,500	常用	2	D	3	6,600/400		2,000	2	1,550
										3	6,600/400		500	2	
					420	22	常用	1	W	1	6,600/200-100		500	1	
西 部 スラッジ センター	全 体	66,000	2,800 /2,940	11,969	—	—	—	—	—	3	66,000/6,600		7,500	2	3,406
	脱水施設	—	—	—	6,600	1,250	非常用	1	D	3	6,600/400		1,500	2	—
										3	6,600/400		1,000	2	
										3	6,600/200		75	1	
東 部 スラッジ センター	焼却施設	—	—	—	6,600	500 875 750	非常用 非常用 非常用	1 1 1	D D GT	3 3 3	6,600/200-100		200	2	—
										3	6,600/400		1,500	2	
										3	6,600/400		1,000	2	
										1	6,600/400		2,000	2	
全 体		—	—	4,464	—	—	—	—	—	—	—		—	—	—
東 部 スラッジ センター	脱水施設	東 部 水 再 生 プラザより受電		1,830	—	—	—	—	—	3	6,600/420		1,500	2	1,010
	焼却施設			2,633	—	—	—	—	—	3	6,600/420		750	1	
										1	6,600/210-105		200	1	
										3	6,600/420		1,500	2	—
										1	6,600/210-105		75	1	
										3	6,600/400		1,000	2	
厚別コンポスト工場		6,600	休止中	2,439	420	250	非常用	1	D	3	6,600/400		500	1	550
										1	6,600/200-100		200	1	
										1	6,600/200-100		50	1	
手稲沈砂洗浄センター		6,600	173	240	420	100	非常用	1	D	3	6,600/415		500	1	180
										1	415/210-105		50	1	
厚別洗浄センター		6,600	156	730	—	—	—	—	—	3	6,600/420		750	1	120
										1	6,600/210-105		100	1	

自家発電機の種類で、Dはディーゼル、GTはガスタービン、Wは小水力を示す。

(3) ポンプ場施設能力の現況と計画

令和7年3月31日現在

区分 ポンプ場名	排水面積 (ha)						排水人口 (千人)
	計画			現在			
	合流	分流	全体	合流	分流	全体	
茨戸中部	(汚) (1,736) 809	(汚) (159) 30	(汚) (1,895) 839	(汚) (1,564) 790	(汚) (114) 31	(汚) (1,678) 821	(101) 58
	(雨) (1,670) 1,173	—	(雨) (1,670) 1,173	(雨) (1,649) 1,152	—	(雨) (1,649) 1,152	
茨戸東部	(汚) 927	(汚) 129	(汚) 1,056	(汚) 773	(汚) 85	(汚) 858	43
	(雨) 497		(雨) 497	(雨) 497		(雨) 497	
東雁来雨水	—		—	—		—	—
	(雨) 409	—	(雨) 409	(雨) 409	—	(雨) 409	
伏古川雨水	—		—	—		—	—
	(雨) 316	—	(雨) 316	(雨) 316	—	(雨) 316	
豊平川	—		—	—		—	—
	(雨) 202	—	(雨) 202	(雨) 202	—	(雨) 202	
米里	(汚) 161		(汚) 161	(汚) 160		(汚) 160	2
	(雨) 161	—	(雨) 161	(雨) 160	—	(雨) 160	
月寒川雨水	—		—	—		—	—
	(雨) 106	—	(雨) 106	(雨) 106	—	(雨) 106	
野津幌川雨水	—		—	—		—	—
		(雨) 259	(雨) 259		(雨) 251	(雨) 251	
川北	—	(汚) 76	(汚) 76	—	(汚) 72	(汚) 72	6
		(雨) 164	(雨) 164		(雨) 160	(雨) 160	
厚別川雨水	—		—	—		—	—
		(雨) 365	(雨) 365		(雨) 363	(雨) 363	
定山溪	—	(汚) 27	(汚) 27	—	(汚) 26	(汚) 26	1
		—	—		—	—	
藤野	—	(汚) 77	(汚) 77	—	(汚) 76	(汚) 76	4
		—	—		—	—	
簾舞	—	(汚) 95	(汚) 95	—	(汚) 80	(汚) 80	2
		—	—		—	—	
藻岩下第2	—	(汚) 8	(汚) 8	—	(汚) 8	(汚) 8	1
		—	—		—	—	
手稲	(汚) 2,417	(汚) 577	(汚) 2,994	(汚) 2,325	(汚) 570	(汚) 2,895	204
	(雨) 2,417	—	(雨) 2,417	(雨) 2,325	—	(雨) 2,325	
茨戸西部	(汚) 1,190	(汚) 22	(汚) 1,212	(汚) 1,137	(汚) 22	(汚) 1,159	87
	(雨) 1,190	(雨) 20	(雨) 1,210	(雨) 1,137	(雨) 20	(雨) 1,157	
計	(汚) 5,504	(汚) 1,041	(汚) 6,545	(汚) 5,185	(汚) 970	(汚) 6,155	407
	(雨) 6,471	(雨) 808	(雨) 7,279	(雨) 6,304	(雨) 794	(雨) 7,098	

1 茨戸東部の排水は茨戸中部を経て排水される。() 内の数値は茨戸中部+茨戸東部

2 東雁来雨水と茨戸東部の雨水の計画排水面積は一部(133ha)が重なり、両ポンプ場に計上している。

令和7年3月31日現在

区分 ポンプ場名	揚 水 能 力 (m ³ ／分)				排除方式	放 流 先	敷地面積 (m ²)	運 転 開 始 年 月
	汚 水 ポ ン プ		雨 水 ポ ン プ					
	計 画	現 在	計 画	現 在				
茨 戸 中 部	171.0	171.0	2,959.0	2,470.0	合 流	伏 籠 川	12,597	昭和51年11月
茨 戸 東 部	95.0	95.0	1,009.0	739.0	合 流	篠路新川	9,489	昭和57年4月
東雁来雨水	—	—	636.0	636.0	合 流	豊 平 川	11,000	平成30年5月
伏古川雨水	—	—	767.0	767.0	合 流	伏 籠 川	5,048	昭和62年4月
豊 平 川	—	—	672.0	672.0	合 流	月 寒 川	2,350	昭和47年6月
米 里	39.4	25.4	492.0	316.0	合 流	豊 平 川	6,747	昭和60年4月
月寒川雨水	—	—	230.0	230.0	合 流	月 寒 川	813	昭和56年8月
野津幌川雨水	—	—	558.0	558.0	分 流	野津幌川	(水再生プラザ敷地内) 3,210	平成元年4月
川 北	8.6	4.3	420.0	280.0	分 流	月 寒 川	3,713	平成元年10月
厚別川雨水	—	—	1,200.0	720.0	分 流	厚 別 川	6,167	平成5年4月
定 山 溪	13.0	13.0	—	—	分 流	—	630 (150)	昭和46年4月
藤 野	5.3	5.3	—	—	分 流	—	1,335	昭和58年4月
簾 舞	6.6	6.6	—	—	分 流	—	1,500	昭和62年4月
藻岩下第2	1.0	1.0	—	—	分 流	—	(占用) 98	昭和53年4月
手 稲	397.8	397.8	4,668.0	3,720.0	合 流 (一部分流)	新 川	13,171	昭和49年4月
茨 戸 西 部	151.0	150.0	2,224.0	2,564.0	合 流	発 寒 川	12,870	昭和50年7月
計	888.7	869.4	15,835.0	13,672.0	—	—	90,738	—

注：敷地面積は、地積測量図の地積。（ ）内数値は占用部分で内数

(4) ポンプ場設備の現況

ポンプ設備

令和7年3月31日現在

区分 ポンプ場名	汚 水 ポ ン プ						
	型 式	口 径 (mm)	揚 水 量 (m ³ /分・台)	揚 程 (m)	出 力 (kW)	台 数	種 類
茨 戸 中 部	立 軸 斜 流	700	64	8.4	130	2	M
	〃	900	107	8.4	215	2	M
茨 戸 東 部	立 軸 斜 流	450	23	10.3	65	2	M
	〃	600	49	10.3	130	2(内1台※)	M
東 雁 来 雨 水	-	-	-	-	-	-	-
伏 古 川 雨 水	-	-	-	-	-	-	-
豊 平 川	-	-	-	-	-	-	-
米 里	立 軸 渦 巻 斜 流	200	4.2	10	15	2	M
	〃	350	17.0	11	55	2	M
月 寒 川 雨 水	-	-	-	-	-	-	-
野 津 幌 川 雨 水	-	-	-	-	-	-	-
川 北	水中ポンプ(渦巻) (無閉塞スクリュウ式)	200	4.3	30	45	2	M
厚 別 川 雨 水	-	-	-	-	-	-	-
定 山 溪	立軸スクリュウ式	200	4.33	38	60	4	M
藤 野	水中ポンプ(渦巻)	200	4.75	30.5	45	3	M
簾 舞	水中ポンプ(渦巻)	250	4.0	50	75	2	M
藻 岩 下 第 2	水中ポンプ(渦巻)	100	1.5	11.5	5.5	2	M
	〃	200	3.3	19.4	21	1	M
手 稲	立 軸 斜 流	600	39	13.8	130	1	M
	〃	1,000	138	14.1	445	2	M
	〃	1,350	221	9.3	465	2	M
茨 戸 西 部	立 軸 斜 流	500	43	9.5	110	2	M
	〃	600	64	9.8	170	2	M

1 ポンプ種別でMは電動、Dはディーゼル、GTはガスタービンを示す。

2 電動機出力はkW、ディーゼル・ガスタービンはPSで表示

3 ※は、汚水と雨水の兼用を示す。

令和7年3月31日現在

区分 ポンプ場名	雨 水 ポ ン プ						
	型 式	口 径 (mm)	揚 水 量 (m ³ /分・台)	揚 程 (m)	出 力 (kW)	台 数	種 類
茨 戸 中 部	立 軸 斜 流	1,350	245	7.8	465	2	M
	〃	2,200	660	7	1,650 PS	4	D
茨 戸 東 部	立 軸 斜 流	1,000	150	9.1	320	1	M
	〃	1,500	270	9.1	850 PS	3	D
東 雁 来 雨 水	立 軸 斜 流	800	90	18.5	400	2	M
	〃	1,350	228	18.5	1360PS	3	GT
伏 古 川 雨 水	立 軸 斜 流	500	35	14	120	1	M
	〃	1,000	120	11	300	1	M
	〃	1,350	204	11	800 PS	4	D
豊 平 川	立 軸 斜 流	700	60	8.2	115	1	M
	〃	1,200	204	8.5	600 PS	3	GT
米 里	立 軸 斜 流	500	36	11.5	110	1	M
	〃	1,000	140	11.0	550 PS	2	D
月 寒 川 雨 水	立 軸 斜 流	1,350	230	4.8	370 PS	2	D
野 津 幌 川 雨 水	立 軸 斜 流	800	75	14	250	2	M
	〃	1,350	204	12.5	900 PS	3	D
川 北	立 軸 斜 流	1,000	140	11.5	360	3	M
厚 別 川 雨 水	立 軸 斜 流	1,000	120	13.7	400	2	M
	〃	2,000	480	13.7	2,300 PS	2	D
定 山 溪	-	-	-	-	-	-	-
藤 野	-	-	-	-	-	-	-
簾 舞	-	-	-	-	-	-	-
藻 岩 下 第 2	-	-	-	-	-	-	-
手 稻	立 軸 斜 流	2,600	930	11.3	3,370 PS	3	D
					3,536 PS	1	GT
茨 戸 西 部	立 軸 斜 流	1,000	139	6.1	210	2	M
	〃	2,000	572	5.7	1,100 PS	3	D
	〃	2,000	570	13.7	1,890	1	GT

1 ポンプ種別でMは電動、Dはディーゼル、GTはガスタービンを示す。

2 電動機出力はkW、ディーゼル・ガスタービンはPSで表示

3 ※は、汚水と雨水の兼用を示す。

沈砂池設備

令和7年3月31日現在

区分 ポンプ場名	沈砂池									
	用途	池数	容量 (m ³ /池)	型式	除じん設備			除砂設備		
					方式	台数	付属設備	方式	台数	付属設備
茨戸中部	汚水	4	300	矩形 平行流	細目 "	4	自動バースクリーン スクリュウコンベヤ	機械掻揚	4	トラフコンベヤ
	雨水	4	300	"	細目 "	4	バケットコンベヤ	機械掻揚 (埋没防止型)	4	バケットコンベヤ
茨戸東部	汚水	3	230	矩形 平行流	細目 "	3	自動バースクリーン スクリュウコンベヤ	機械掻揚	3	トラフコンベヤ
	雨水	3	470	"	細目 "	3	バケットコンベヤ	機械掻揚 (埋没防止型)	3	スクリュウコンベヤ
東雁来雨水	雨水	3	132	矩形 平行流	細目 "	3	自動バースクリーン スクリュウコンベヤ バケットエレベータ	真空揚砂装置	3	沈砂分離機
伏古川雨水	雨水	3	360	矩形 平行流	細目 "	3	自動バースクリーン スクリュウコンベヤ バケットエレベータ	機械掻揚	3	トラフコンベヤ バケットエレベータ
豊平川	雨水	2	85.6	"	細目 "	2	自動バースクリーン ベルトコンベヤ	混気ジェット ポンプ	2	トラフコンベヤ
米里	汚水	2	15.3	矩形 平行流	細目 "	2	自動バースクリーン スクリュウコンベヤ	機械掻揚	2	トラフコンベヤ
	雨水	2	88.0	"	細目 "	1	バケットエレベータ		2	バケットエレベータ
月寒川雨水	雨水	1	-	-	粗目 "	2	自動バースクリーン	-	-	-
野津幌川雨水	雨水	3	240	矩形 平行流	粗目 "	3	自動バースクリーン バケットエレベータ	機械掻揚	6	トラフコンベヤ バケットエレベータ
					細目 "	3	ベルトコンベヤ			
川北	汚水	-	-	-	粗目 "	1	人力掻揚	-	-	-
	雨水	2	107.5	矩形 平行流	粗目 "	2	自動バースクリーン ベルトコンベヤ	機械掻揚 (埋没防止型)	2	トラフコンベヤ バケットエレベータ
厚別川雨水	雨水	2	156	矩形 平行流	粗目 "	2	自動バースクリーン	機械掻揚 (埋没防止型)	4	トラフコンベヤ バケットエレベータ
					細目 "	2	ベルトコンベヤ			
定山溪	汚水	-	-	-	粗目 "	1	コミュニーター (人力掻揚)	-	-	-
藤野	汚水	-	-	-	粗目 "	1	スミカッター (人力掻揚)	-	-	-
簾舞	汚水	-	-	-	粗目 "	1	スミカッター (人力掻揚)	-	-	-
藻岩下第2	-	1	-	-	細目 "	1	(人力掻揚)	-	-	-
手稲	汚水	4	120	矩形	細目 "	4	自動バースクリーン ベルトコンベヤ	機械掻揚 (埋没防止型)	4	トラフコンベヤ
		2	191	平行流	細目 "	2		機械掻揚	2	ベルトコンベヤ
	雨水	3	260	"	細目 "	3		機械掻揚 (埋没防止型)	3	バケットエレベータ 混気ジェットポンプ
茨戸西部	汚水 雨水 共通	4	58	矩形 平行流	細目 "	4	自動バースクリーン スクリュウコンベヤ バケットコンベヤ	機械掻揚	4	トラフコンベヤ バケットコンベヤ
	雨水	1	378	"	細目 "	2		バキューム車	1	圧力水集砂装置

電気設備

令和7年3月31日現在

区分 ポンプ場名	受電 電圧 [V]	契約 電力 [kW]	設備 容量 [kW]	自家発電設備					変圧器				コンデンサ 調相容量 [kVA]
				電圧 [V]	容量 [kVA]	種別	台数	種類	相数	電圧 1次[V]/2次[V]	容量 [kVA]	台数	
茨戸中部	6,600	970	2,530	6,600	1,500	非常用	1	D	3 1	6,600/420 6,600/210-105	1,000 100	2 1	450
茨戸東部	6,600	700	1,318	6,600	800	非常用	1	D	3 1	6,600/415 6,600/200-105	500 100	2 1	210
東雁来雨水	6,600	800	1,919	6,600	1,000	非常用	1	D	3 1	6,600/420 6,600/210-105	500 75	2 1	175
伏古川雨水	6,600	359~385	958	6,600	400	非常用	1	D	3 1	6,600/400 6,600/200-100	300 50	2 1	350
豊平川	6,600	181~173	622	6,600	625	非常用	1	GT	3 1	6,600/400 6,600/200-100	300 30	2 1	190
米里	6,600	211~205	615	6,600	500	非常用	1	GT	3 1	6,600/400 6,600/200-100	300 50	2 1	125
月寒川雨水	200 100	電力39 電灯 7	46	200	100	非常用	1	D	-	-	-	-	-
野津幌川	6,600 (処理場 から送 電)	350 (処理場 に含む)	899	-	-	-	-	-	3 3 3 1	6,600/3,300 6,600/3,300 3,300/400 3,300/200-100	1,500 500 300 75	1 1 2 1	-
川北	6,600	444~439	1,693	6,600	1,250	常用	2	D	3 1	6,600/400 6,600/200-100	300 50	2 1	450
厚別川雨水	6,600	431~382	1,306	6,600	625	常用	1	D	3	6,600/420 6,600/200-100	500 75	2 1	320
定山溪	6,600	71	373	420	500	非常用	1	GT	3	6,600/420	750	1	60
藤野	6,600	117~132	154	200	200	非常用	1	GT	3	6,600/210	300	1	30
簾舞	6,600	86~89	264	420	400	非常用	1	D	3	6,600/420	300	1	60
藻岩下第2	200 100	電力26 電灯20A	37	200 (100)	89	非常用	1	D	-	-	-	-	-
手稲	6,600	1,400	3,727	6,600	2,000	非常用	1	D	3 3 1	6,600/400 6,600/200 6,600/200-100	750 100 300	2 1 1	2,280
茨戸西部	6,600	900	1,885	6,600	1,000	非常用	1	GT	3 1 1	6,600/420 6,600/210-105 6,600/210-105	750 75 50	2 1 1	664

自家発電機の種類で、Dはディーゼル、GTはガスタービンを示す。

(5) その他施設の概要

西部スラッジセンター

敷地面積 86,913 m²

①脱水施設

- 1) 運転開始 平成12年3月
- 2) 脱水機能力 50 m³/時・台×6台
- 3) 脱水方式 遠心脱水方式
- 4) 設備概要

	機 器 名	仕 様	台数
濃縮設備	分配槽	鋼板製×1槽(可動堰2門)、RC製×2槽(可動堰各4門)	3槽
	濃縮槽	RC製重力式、18 mφ、1,018 m ³ 、掻寄機：中央駆動支柱型	8槽
脱水設備	遠心脱水機	No. 1～4：横軸高効率遠心型50 m ³ /時、主：132 kW、油圧：45 kW No. 5・6：低動力型高効率遠心型50 m ³ /時、主：132 kW、差速：37 kW	6台
	分配ホッパ	供給装置付立形円筒鋼板製ホッパ、No. 1・2：3.5 mφ×2.6 mH、No. 3：3.2 mφ×2.0 mH、20 m ³ /時	3基
	脱水ケーキ移送ポンプ	ダブルシリンダ型ピストンポンプ、No. 1～4：19.2 m ³ /時、150φ、132 kW、No. 5・6：20 m ³ /時、230φ、132 kW	6台
	計量ホッパ	鋼板製角型ホッパ、2 m ³ 、20 m ³ /時	2基
	ケーキ移送中継ポンプ	ダブルシリンダー式ピストンポンプ、19.2 m ³ /時、150φ、132 kW	2台
	ポリマーサイロ	鋼板製円筒下部円錐槽、2.7 mφ×7.5 mH、有効27 m ³	1基
	ポリマー溶解槽	攪拌機付自動溶解槽、3.9 mφ×3.3 mH、有効27 m ³ 、15 kW	4基
返流水設備	排水槽	RC製、17 mW×19 mL×5 mH、有効1,130 m ³	2槽
	急速攪拌槽	RC製、2.5 mW×7 mL×4 mH、有効52.5 m ³ 、攪拌機：立軸ハートル式ミキサー	2槽
	緩速攪拌槽	RC製、7 mW×7 mL×4 mH、有効147 m ³ 、攪拌機：立軸ハートル式ミキサー	2槽
	凝集沈殿池	RC製重力式、18 mφ、1,018 m ³ 、掻寄機：中央駆動支柱型	2槽
	返水槽	RC製、17 mW×14 mL(19 mL)×5 mH、有効1,130 m ³ ×1槽、833 m ³ ×1槽	2槽
	返水ポンプ	横軸渦巻形、200A×150A、4.9 m ³ /分、24.5m、37 kW	5台
用水設備	生物膜ろ過槽	RC製、1.9 mW×2.5 mL×6 mH×4槽、4,320 m ³ /日、ろ速120 m/日	1槽
	通気ブロワ	ルーツ形、40 A、0.57 Nm ³ /分、5,500 mmAq、2.2 kW	2台
	空洗ブロワ	ルーツ形、100 A、4.8 m ³ /分、5,500 mmAq、11 kW	2台
脱臭設備	濃縮棟脱臭塔	立形直投2塔式、200 m ³ /分、100 mmAq	1基
	濃縮棟脱臭ファン	片吸込ターボファン、100 m ³ /分、250 mmAq、11 kW	2台
	脱水棟脱臭塔	立形直投2塔式、200 m ³ /分、100 mmAq	1基
	脱水棟脱臭ファン	片吸込ターボファン、47 m ³ /分、220 mmAq、5.5 kW	1台
電気設備	特別高圧受変電設備	66,000 V 7,500 kVA	2台
	高圧変電設備	6,600 V 1,500 kVA(脱水棟動力用)	2台
		6,600 V 1,000 kVA(濃縮棟動力用)	2台
		6,600 V 75 kVA(付帯動力用)	1台
		6,600 V 200 kVA(電灯用)	2台
	非常用発電設備	6,600 V 1250 kVA ディーゼル発電機	1台

②定山溪脱水施設

- 1) 運転開始 令和5年4月
- 2) 脱水機能力 2.4m³/時・台×2台
- 3) 脱水方式 圧入式スクリープレス
- 4) 設備概要

	機 器 名	仕 様	台数
受入設備	汚泥貯留槽攪拌機	立型ミキサ、羽根径約Φ1700mm、出力15kW	2槽
脱水設備	汚泥圧入ポンプ	一軸ねじ式ポンプ、1.15～3.45m ³ /h×25mH、65A、出力2.2kW	2台
	汚泥攪拌機	立型一軸破砕機、3.45m ³ /h、3.7kW	1台
	脱水機	圧入式スクリープレス脱水機、Φ500mm、2.4m ³ /時、7.25kW	2台 (1台予備)
	ろ液分離槽汚泥引抜ポンプ	無閉塞型汚泥ポンプ、6.5m ³ /h×3mH、80A、出力1.5kW	2台
消石灰設備	消石灰サイロ（溶液用）	円筒下部円錐型、有効容量4.0m ³	1基
	消石灰サイロ（粉体用）	円筒下部円錐型、有効容量14m ³	1基
	消石灰定量供給機（溶液用）	可変連続定量供給機、0.3m ³ /h、出力2.25kW	1台
	消石灰定量供給機（粉体用）	可変連続定量供給機、0.1m ³ /h、出力0.75kW	1台
	消石灰溶解槽	立型攪拌槽、0.5m ³ 、出力0.2kW	2槽
	消石灰貯留槽	立型攪拌槽、1.0m ³ 、出力0.2kW	2槽
	循環ポンプ	ラインポンプ、200L/min×3.4mH	1台
	消石灰注入ポンプ	一軸ねじ式ポンプ、0.05～0.16m ³ /h×19mH、20A、出力0.4kW	2台
	消石灰供給コンベヤ	一軸スクリーコンベヤ、搬送量0.09m ³ /h、出力0.4kW	1基
薬注設備	ポリマー定量供給機	ホッパ付可変連続定量供給機、有効容量200L、出力0.2kW	2台
	ポリマー溶解槽	立型攪拌槽、有効容量1.2m ³ 、出力0.75kW	2槽
	ポリマー貯留槽	立型貯留槽、有効容量3.0m ³	2槽
	ポリマー注入ポンプ	一軸ねじ式ポンプ、0.23～0.70m ³ /h×30mH、出力0.4kW	2槽
搬出設備	No.1ケーキコンベヤ	無軸スクリーコンベヤ、0.5m ³ /h、機長8m、出力0.75kW	1基
	消石灰混練機	二軸パドルスクリー式混合機、0.6m ³ /h、出力5.5kW	1台
	No.2ケーキコンベヤ	無軸スクリーコンベヤ、0.6m ³ /h、機長10m、出力0.75kW	1基
	No.3ケーキコンベヤ	無軸スクリーコンベヤ、0.6m ³ /h、機長6m、出力2.25kW	1基
	ケーキホッパ	電動カットゲート式、容積12m ³ 、出力4.4kW	2基

③焼却施設

- 1) 運転開始 1系列 (100 t/日) 令和3年9月 4系列 (100 t/日) 平成8年3月
 2系列 (100 t/日) 令和6年3月 5系列 (150 t/日) 平成12年8月
 3系列 (100 t/日) 平成6年3月
- 2) 焼却能力 脱水ケーキ 550 t/日
- 3) 焼却方式 燃焼回収熱を利用した汚泥間接乾燥焼却方式
- 4) 設備概要

	機 器 名	仕 様	台 数
汚 泥 乾 燥 焼 却 設 備	汚泥タンク	500 m ³ 、円筒形下部搔寄切出式 (1・2系)	1基
	汚泥ピット	1,000 m ³ 、2 t×13.5 mクラブバケット 電動天井クレーン (3・4・5系)	3基
	乾燥機	伝熱面積 180 m ² /基 (1系) 200 m ² /基 (2・3・4系) 160m ² /基 (5系×2基)	6基
	汚泥焼却炉	階段式ストーカ炉 焼却能力 100 t/日 150 t/日 (5系のみ)	5基
	廃熱ボイラ	蒸気発生量 6,200 kg/時、伝熱面積 414 m ² (1・2系)	2基
		蒸気発生量 6,000 kg/時、伝熱面積 414 m ² (3・4系)	2基
		蒸気発生量 9,000 kg/時、伝熱面積 530 m ² (5系)	1基
	マルチサイクロン	処理ガス量 10,000 Nm ³ /時 (1・2系)、16,000 Nm ³ /時 (5系)、13,500 Nm ³ /時 (3・4系)	5基
	汚泥アッシュバンカ	油圧開閉式 15m ³ 、油圧ユニット 11kW 及び22kW	13基
	排ガス洗浄塔	水噴霧及びアルカリ噴霧の2段式	5基
		250℃ (3・4・5系) 200℃ (1・2系) 10,000 Nm ³ /時 (1・2系)、13,500 Nm ³ /時 (3・4系)、16,000Nm ³ /時 (5系)	
電 気 設 備	電気集じん機	湿式電気集じん機 出口ばいじん濃度≤0.1 g/Nm	5基
		処理ガス量 9,000 Nm ³ /時 (1・2系)、12,000 Nm ³ /時 (3・4系)、13,500 Nm ³ /時 (5系)	
	高圧変電設備	6,600 V 2,000 kVA (5系動力用) 2台、1,500 kVA (1,2系動力用) 2台、1,000 kVA (3,4系動力用) 2台、200 kVA (電灯用1,2,3系各1台の計3台)	9台
	非常用発電設備	6,600 V 500 kVA 875 kVA 750 kVA	3台
	蒸気発電設備	400 V 140kW (2台) 160kW (1台)、400V 50～60kW (バイナリ発電機) (1台)	4台

東部スラッジセンター

敷地面積 40,196 m²

①脱水施設

- 1) 運転開始 平成19年9月
 2) 脱水機能力 50 m³/時・台×3台
 3) 脱水方式 遠心脱水方式
 4) 設備概要

	機 器 名	仕 様	台数
濃縮設備	汚泥受槽	R C 製、有効容量683 m ³ 、攪拌機：立軸パドル式	1 槽
	濃縮タンク投入ポンプ	吸込スクリー付汚泥ポンプ、10.6 m ³ /分×15 m、75 kW、VVVF	2 台
	汚泥分配槽	R C 製4分割型、有効容量9.9 m ³ 、可動堰 900 mmW×500 mmH×4 門	1 槽
	濃縮汚泥破碎機	二軸せん断式、φ 200×1.3 m ³ /分	4 台
	濃縮タンク	R C 製重力式、18 mφ、有効容量1,021 m ³ 、掻寄機：中央駆動支柱型	4 槽
	濃縮汚泥引抜ポンプ	吸込スクリー付汚泥ポンプ、1.3 m ³ /分×5 m、3.7 kW、VVVF	4 台
	ピグ受槽	R C 製、有効容量20 m ³	1 槽
脱水・ケーキ移送・ケーキ貯留設備	汚泥貯留タンク	R C 製、攪拌機：立軸パドル式	2 槽
	汚泥貯留タンク引抜破碎機	二軸せん断式、φ 300×6.3 m ³ /分	1 台
	脱水機給泥ポンプ	吸込みスクリー付汚泥ポンプ、1.3 m ³ /分×20 m、11 kW、VVVF	3 台
	遠心脱水機	横型遠心脱水機 50 m ³ /時(25～75 m ³ /時) 主：180 kW、差速：55 kW	3 台
	処理水槽	R C 製、8.4 mW×8.05 mL×6.8 mH、有効360 m ³	2 槽
	ろ過水槽	R C 製、6.55 mW×8.0 mL×6.8 mH、有効300 m ³	2 槽
	返流水槽	R C 製、13 mW×12 mL×6.8 mH、有効870 m ³	2 槽
	凝集剤貯留ホッパ	鋼板製円筒下部円錐型、1.8 mφ×4.0 mH、有効6 m ³ 、0.9 kW	2 台
	凝集剤定量供給機	一連式定量フィーダ、5 L/分、0.4 kW	3 台
	凝集剤溶解槽	鋼板製立型攪拌槽、4.0 mφ×2.0 mH、有効20 m ³ 、11 kW	3 基
	脱水ケーキ移送ポンプ	ダブルシリンダ型ピストンポンプ、8.8m ³ /時、75 kW	3 台
	ケーキ貯留ホッパ	鋼板製円筒型下部掻寄式、6.2 mφ×16.5 mH、有効400 m ³ 、8.8 t/時、11 kW	2 基
	貯留ケーキ移送ポンプ	ダブルシリンダ型ピストンポンプ、8.8 t/時、30 kW	2 台
	ケーキ受入ホッパ	鋼板製角槽形下部切出多軸スクリー式、12.5 m ³ 、11 m ³ /時、7.5 kW×2	1 基
脱臭設備	受入ケーキ移送ポンプ	ダブルシリンダ型ピストンポンプ、8.8 m ³ /時、45 kW	2 台
	ケーキ搬出ホッパ	鋼板製カットゲート開閉式両開きホッパ 12.5 m ³	1 基
	水洗浄搭	角型充てん式 230 m ³ /分	1 基
	充てん式生物脱臭塔	角型充てん式生物脱臭塔 230 m ³ /分	1 基
電気設備	脱臭ファン	F R P 製片吸込ターボファン、115 m ³ /分、15 kW、3.4 kPa	2 台
	活性炭吸着塔	カートリッジ式角形活性炭吸着式 230 m ³ /分	1 基
	特別高圧受変電設備	Tr 66,000 V 6,000 kVA(東部水再生プラザ側に設置)	2 台
	高圧変電設備	Tr 6,600 V/420 V 1,500 kVA(濃縮・脱水系動力用)	2 台
		Tr 6,600 V/420 V 750 kVA(ケーキ貯留系動力用)	1 台
		Tr 6,600 V/210-105 V 200 kVA(濃縮・脱水・ケーキ貯留系照明用)	1 台
電	非常用発電設備	Tr 6,600 V 3 Φ 2,500 kVA(東部水再生プラザ側に設置)	1 台

②焼却施設

- 1) 運転開始 1号污泥焼却炉 (150 t/日) 平成19年 9 月
 2号污泥焼却炉 (150 t/日) 平成21年 9 月
- 2) 焼却能力 300t/日
- 3) 焼却方式 循環式流動焼却方式
- 4) 設備概要

	機 器 名	仕 様	台 数
ケ ー キ 供 給 ・ 焼 却 ・ 排 ガ ス 処 理 ・ 排 水 処 理 ・ 灰 搬 出 設 備	ケーキ供給ホッパ	鋼板製角槽式下部切出多軸スクリー式、25 m ³ 、8.8 t/時、11 kW×2	4 基
	スクリーンかすホッパ	鋼板製円筒式 3.5 m ³	2 基
	ケーキスクリーンかす混合機	二軸スクリーパドル式 8.8 t/h	2 基
	ケーキ供給ポンプ	ダブルシリンダ型ピストンポンプ、6.25 t/時、37 kW	4 台
	污泥焼却炉	循環式流動焼却炉、焼却能力150 t/日	2 基
	砂選別機	振動式、1.0 t/時、0.85 kW×2	2 台
	砂ホッパ	鋼板製密閉型円筒下部吐出式、8 m ³ ・0.2kW (1号炉)、10m ³ ・0.4kW (2号炉) 1.0 t/時	2 基
	きょう雑物ホッパ	鋼板製密閉型円筒下部吐出式、2 m ³ 、0.75 kW	2 基
	二次燃焼空気予熱器	ガスーガス熱交換式 2,200 MJ/時(1号炉) 2,370 MJ/時(2号炉)	2 基
	一次燃焼空気予熱器	ガスーガス熱交換式 5,000 MJ/時(1号炉) 4,740 MJ/時(2号炉)	2 基
	結露防止空気予熱器	ガスーガス熱交換式 5,300 MJ/時(1号炉) 5,196 MJ/時(2号炉)	2 基
	排ガス冷却塔	立形円筒スプレー式、出口温度200℃以下、17,000 Nm ³ /時	2 基
	排ガス除じん装置	パルス空気洗浄式バグフィルタ、0.02 g/Nm ³ 、19,000 Nm ³ /時、34 kW	2 基
	排ガス処理塔	湿式洗浄冷却脱硫塔、出口温度40℃、19,000 Nm ³ /時	2 基
	誘引ファン	プレート式、270 Nm ³ /分、170 kW	2 基
	排水ポンプ	渦巻ポンプ、3.1 m ³ /分×30 m、30 kW	4 台
	排水槽	SUS鋼板製、3.0 mW×3.3 mL×3.3 mH、有効容量22 m ³	2 槽
	洗煙排水ポンプ	渦巻ポンプ、3.1 m ³ /分×24 m、22 kW	3 台
	洗煙排水槽	SUS鋼板製、3.3 mW×2.85 mL×6.55 mH、有効容量33 m ³	1 槽
	灰ホッパ	鋼板製密閉式、貯留量65 m ³	2 基
	灰加湿装置	二軸パドル式、10 t/時、11 kW	2 基
電気設備	高圧変電設備	Tr 6,600 V/420 V 1,500 kVA(焼却系動力用)	2 台
		Tr 6,600 V/210-105 V 75 kVA(焼却系照明用)	1 台

厚別洗浄センター

- 1) 運転開始 平成22年4月
- 2) 敷地面積 厚別水再生プラザ敷地内 8,516 m²
- 床面積 地上2階・地下1階 R C構造 3,429.72 m²
- 3) 洗浄能力 2.0m³/時・系 3,000 m³/年
- 4) 設備概要
処理設備

	名 称	仕 様	台 数
処 理 設 備	スクリーンかす供給機	ダブルチェーン式レーキスクリーン 2.0 m ³ /h	2
	スクリーンかすほぐし機	ボールミル方式（ゴムライニング） 2.0 m ³ /h	2
	スクリーンかす洗浄機	機械攪拌式 2.0 m ³	2
	鉄選別機	永久磁石吊下型 1.6 m ³ /h	2
	スクリーンかす粗破碎機	横置二軸回転式 1.6 m ³ /h	2
	スクリーンかす脱水機	スクリュース式 1.6 m ³ /h	2
	スクリーンかす細破碎機	横置二軸回転式 1.3 m ³ /h	2
	アルミ選別機	磁界式 1.3 m ³ /h	2
	スクリーンかす搬出機	垂直バケットコンベヤ 1.3 m ³	2
	スクリーンかすホッパ	切出装置付（スクリュース） 貯留量7.0 m ³	2
	不燃物搬出機	トラフ形ベルトコンベヤ 搬送能力1.0 m ³ /h	2
	水中破碎ポンプ	S型オープンインペラー（カッターディバイス付） 3.75 m ³ /min×11.7m	1
共 通 設 備	共通不燃物排出機	垂直バケットコンベア 3.0 m ³ /h	1
	不燃物ホッパ	電動カットゲート（床置） 貯留量10 m ³	1
	スカム除去装置	裏搔式連続自動スクリーン 目巾2.5 mm	1
	スカム脱水機	二軸対向型スクリュース式 240 L/h	1
	スカム搬出機	無軸式スクリュースコンベヤ 搬送能力0.49 m ³ /h	2

	名 称	仕 様	台 数
その他の設備	処理水給水装置	圧力タンク式（横軸渦巻ポンプ） 3.7 m ³ /min×30 m タンク8.0 m ³	1
	井水給水装置	圧力タンク式（横軸渦巻ポンプ） 0.6 m ³ /min×35 m タンク3.0 m ³	1
	処理水送水ポンプ	水中渦巻きポンプ 2.3 m ³ /min×10 m	2
	井水送水ポンプ	水中渦巻きポンプ 0.14 m ³ /min×23 m	2
	排水ポンプ(200)	着脱式吸込 S C 水中ポンプ 4.3 m ³ /min×1.0m	2
	床排水ポンプ(65)	着脱式汚水汚物水中ポンプ 0.3 m ³ /min×10 m	3
	空気圧縮機	パッケージ空気圧縮機(165 L/min) 0.93 MPa	2
脱臭設備	活性炭吸着塔	立形カートリッジ式活性炭 150 m ³ /min	1
	脱臭用排気ファン	搬入室・処理設備（片吸込） 75 m ³ /min×2.0 kPa	各 1
	脱臭用給気ファン	搬入室・処理設備（片吸込） 75 m ³ /min×0.2 kPa	各 1

手稲沈砂洗浄センター

- 1) 運転開始 平成4年4月
- 2) 敷地面積 5,200 m²
- 3) 洗浄能力 8 m³/時
- 4) 設備概要

	名 称	仕 様	台 数
受 入 設 備	計量器	ロードセル型ピット式トラックスケール 25 t	1
	沈砂貯留ホッパー	貯留量 30 m ³ 沈砂量 15 m ³	2
	定量供給機	2条式スクリーコンベヤ 4 m ³ /時	2
	破碎機	衝撃式破碎機 4 m ³ /時	1
洗 砂 設 備	洗砂機	ドラム回転式 4 m ³ /時	1
		気水混合噴射型単一レーキ式除じん機 4 m ³ /時	1
	洗砂分離機	洗浄槽付きトラフコンベヤ 6 m ³ /時	2
	洗砂ホッパー	貯留量 10 m ³	2
除 じ ん 設 備	スカム分離機	3面移行式除じん機幅 500 mm×目幅 3 mm	1
	スカム脱水機	スクリー式 0.3 m ³ /時	1
	スクリーンかすホッパー	貯留量 10 m ³	1

手稲山口埋立施設（手稲区手稲山口322番地）

- 1) 埋立期間 昭和56年3月～昭和57年1月
- 2) 敷地面積 36,510 m²（埋立面積 11,100 m²）
- 3) 埋立全容積 33,200 m³
- 4) 構造概要 底面：アスファルト舗装6 cm、提内法面：アスファルトマット10 mm、
提外法面：土木用シート2.0 mm
- 5) 埋立物 脱水汚泥、沈砂、スクリーンかす

手稲前田埋立施設（手稲区手稲前田448番地 1）

- 1)埋立期間 昭和57年1月～平成12年11月
 2)敷地面積 91,774 m²
 3)埋立全容積 369,000 m³
 4)構造概要 底面：アスファルト舗装（2層）6 cm、側面：遮水シート厚 1.5 mm
 5)施設概要

	総 計	内 訳			
		No. 1～4	No. 5	No. 6	No. 1～6 上部
表 面 積 (m ²)	—	36,000 (9,000×4池)	12,000	12,000	53,000
底 面 積 (m ²)	46,200	29,200 (7,300×4池)	8,500	8,500	48,000
深 さ (m)	7.0	4.5	4.5	4.5	2.5
容 積 (m ³)	369,000	150,000 (37,500×4池)	46,500	46,500	126,000
使 用 開 始 年 月	—	昭和56年12月新設 昭和57年1月	昭和60年12月増設 昭和61年1月	昭和63年12月増設 平成2年7月	平成7年10月増設 平成7年11月

- 6)埋立物 脱水汚泥、沈砂、スクリーンかす、下水汚泥焼却灰、西部スラッジセンター
 工事掘削物

手稲前田第2埋立施設（手稲区手稲前田623番地 他）

- 1)埋立期間 平成4年12月～
 2)敷地面積 63,223 m²
 3)埋立全容積 205,344 m³ (No. 1～No. 6)
 4)構造概要 底面：アスファルト舗装（2層）10 cm、側面：遮水シート 厚1.5 mm (No. 1～4)
 全面：二重遮水シート 厚1.5 mm (No. 5、No. 6)
 5)施設概要

	総 計	内 訳					
		No. 1	No. 2	No. 3	No. 4	No. 5	No. 6
表 面 積 (m ²)	44,994	7,513	7,513	7,513	7,513	7,471	7,471
底 面 積 (m ²)	22,880	4,005	4,005	4,005	4,005	3,430	3,430
深 さ (m)	—	6.0	6.0	6.0	6.0	6.8	6.8
容 積 (m ³)	205,344	34,271	34,271	34,271	34,271	34,130	34,130
使 用 開 始 年 月	—	平成3年1月新設 平成4年12月	平成6年8月増設 平成6年8月	平成7年9月増設 平成7年12月	平成10年2月増設 平成12年9月	平成17年3月増設 平成17年5月	平成18年11月増設 令和3年8月

- 6)埋立物 脱水汚泥、沈砂、スクリーンかす、下水汚泥焼却灰

